鳥類標識による新潟県の新記録種

Newly Recorded Species from Niigata Prefecture by Bird Banding

風 間 辰 夫 (Tatuo Kazama)

筆者が鳥類標識調査に参加したのは1965年10月からであり、山階鳥類研究所の吉井正先生と2人で、柏崎市安政町(当時悪田のアシ原)で36メッシュ×12メートルのカスミ網3枚張り、それまで新潟県では迷鳥扱いをされていたオオジュリン(*Emberiza Schoeniclus*)を90羽も標識放鳥した。これは鳥類標識調査が、いかなる生態観察方法よりもすぐれた事実を示したものである。

それから約20年間にわたって新潟県において標識調査を実施している。1972年に環境庁が発足し、環境庁の委託を受けて山階鳥類研究所が、鳥類観測ステーションを中心に標識調査が実施され、標識に関する知識、技術、経験が逐次世界の先進国に近づいてきた。

新潟県における標識調査は、福島潟(1級)、柏崎、粟島(各2級)の3カ所のステーションで実施され、福島潟は山階鳥類研究所標識研究室が中心となって、他の2カ所は地元の15人で実施している。

約20年間の鳥類標識調査で、新潟県から新記録となった種及び亜種について報告する。

新 記 録 種

1. タカサゴクロサギ *Dupetor flavicollis*

1981年5月4日、粟島2級ステーションで標識放鳥した。この個体は雄の成鳥であり、日本新記録である(山階鳥研報13:136-139, 1981)。

2. クロコシジロウミツバメ *Oceanodroma castro*

1975年10月26日、福島潟1級ステーション、1985年10月25日、柏崎2級ステーションでそれぞれ1羽を標識放鳥した。

3. イワミセキレイ *Dendronanthus indicus*

1966年10月25日、柏崎2級ステーションで雄の成鳥と思われる個体1羽を標識放鳥した(野鳥新潟県:108, 1967)。

4. セジロタヒバリ *Anthus gustavi*

1967年10月9日、柏崎2級ステーションで標識調査中捕獲したが、弱って落鳥した(野鳥33:140-141)。

5. シマアカモズ *Lanius cristatus lucionensis*

1982年5月6日、粟島で雄の成鳥と思われる個体を標識調査した(長岡博物館研究報告19:58-59, 1984)。

6. ヤマヒバリ *Prunella montanella*

1976年10月28日、柏崎、1980年11月10日、福島潟でそれぞれ1羽ずつを標識放鳥した。

7. カラアカハラ *Turdus hortulorum*

1966年5月1日、柏崎で2羽、1969年5月3日、栗島で1羽を標識放鳥した。これらは3羽とも雄であった(野鳥新潟県: 93, 1967)。

8. ダルマエナガ *Paradoxornis webbianus*

1984年5月5日、栗島で標識調査中捕獲したが、弱って落鳥した。雄の成鳥で体重は5グラムと非常に軽かった。本種は日本新記録である(鳥33: 77-78, 1984)。

9. オオセッカ *Megalurus pryori*

1967年9月28日、1977年10月22日、柏崎でそれぞれ1羽ずつ標識放鳥した(野鳥33: 140-141, 1968)。

10. オジロビタキ *Ficedula parva*

1979年10月27日、福島潟で1羽が標識放鳥された。この個体は雌であった。

11. シラガホオジロ *Emberiza leucocephala*

1974年10月15日と1980年11月10日、福島潟、1981年10月21日、栗島でそれぞれ1羽ずつが標識放鳥された。

12. キマユホオジロ *Emberiza chrysophrys*

1981年5月3日、2羽、5月5日、1羽、10月21日、1羽の合計4羽を栗島で標識放鳥した。これらは4羽とも雄の成鳥であった(山階鳥研報13: 136-139, 1981)。

13. シマアオジ *Emberiza aureola*

1981年5月4日、栗島で雄の成鳥1羽を標識放鳥した(山階鳥研報13: 136-139, 1981)。

14. アカマシコ *Carpodacus erythrinus*

1968年4月1日、柏崎で雄の成鳥1羽を標識放鳥した。

15. シベリアジュリン *Emberiza pallasi*

1983年10月4日、福島潟で標識放鳥された。

16. ナキイスカ *Loxia leucoptera*

1965年4月23日、1966年4月28日、柏崎において、それぞれ2羽ずつ合計4羽を標識放鳥した。これらはすべて雄の成鳥であった(野鳥新潟県: 116, 1967)。

17. シベリアアオジ *Emberiza spodocephala spodocephala*

1966年4月29日、1羽、1981年5月4日、2羽、5月5日1羽の合計4羽を柏崎で標識放鳥した。すべて雄の成鳥である(山階鳥研報13: 136-139, 1981)。

18. ヒゲガラ *Panurus biarmicus*

1969年11月15日、新潟市で標識調査中捕獲されたが、落鳥した。雄の成鳥であった。

その他従来、1~2回しか記録のなかった種で、標識調査の結果、放鳥された種及び亜種は次のとおりであり、このうちオオジュリンとオオカワラヒワについては例年かなりの数が渡来していることが判明した。特にオオジュリンは、新潟県で標識放鳥される羽数はカシラダカ *Emberiza rustica*, アオジ *Emberiza spodocephala personata* について第3位であり千単位の数となっている。

1. アリスイ *Jynx torquilla*

柏崎と福島潟で標識放鳥され、福島潟では例年1~3羽である。

2. ムネアカタヒバリ *Anthus cervinus*

栗島と福島潟で標識放鳥された。

3. オオモズ *Lanius excubitor*
福島潟で標識放鳥された。
4. オガワコマドリ *Erithacus svecicus*
福島潟で標識放鳥された。
5. カラフトウグイス *Cettia diphone sakhalinensis*
栗島で標識放鳥された。
6. マキノセンニュウ *Locustella lanceolata*
柏崎と福島潟で標識放鳥された。
7. シロハラホオジロ *Emberiza tristrami*
栗島で標識放鳥した。
8. コホオアカ *Emberiza pusilla*
栗島と福島潟で標識放鳥された。
9. オオジュリン *Emberiza schoeniclus*
栗島、柏崎、福島潟で標識放鳥された。
10. オオカワラヒワ *Carduelis sinica kawarahiba*
栗島、柏崎、福島潟で標識放鳥された。

新潟県環境保健部環境保全課 〒950新潟市新光町 4-1

Division of Environment preservation, Department of environment preservation, Niigata Prefectural Government, 4-1 Shinko-cho, Niigata-shi 950.

アホウドリの標識研究 (予報)

The Banding Studies on the Short-tailed Albatross *Diomedea albatrus* (a preliminary note)

長谷川 博 (Hiroshi Hasegawa)

伊豆諸島鳥島は、アホウドリ *Diomedea albatrus* の現在確認されているただひとつの繁殖地である (尖閣列島南小島でも繁殖が確実視されている)。ここで私は、1977年以来 (1978年を除く) アホウドリの雛への足環標識を行ってきた。その成果を予備的に報告したい。

アホウドリへの足環標識

これまでに鳥島で行われたアホウドリへの足環標識を表 1 の左半分にまとめた。最初の足環標識は 50 年以上も前の 1932 年 4 月に、当時山階鳥類研究所の所員だった山田信夫によって行われた (山田、1985、探鳥記、pp. 42-65、三学出版)。翌 1933 年にも山田信夫・日和三徳によって行われた。しかし、これらのうち成鳥 11 羽と雛 5 羽は、その年のうちに島民によって捕獲されてしまい (松山・杉森、1985、応用鳥学集報、5 : 31-51、参照)、鳥島以外では、結局、1 羽も回収されなかった。